

令和6年度第4回勝浦市地域公共交通活性化協議会会議次第

日時：令和7年3月24日（月）午後2時から

場所：勝浦市役所 4階 大会議室

1. 開 会

2. 議 題

- （1）事業者協力型自家用有償旅客運送に係る実証運行について
- （2）令和7年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について

3. 報 告

- （1）地域公共交通計画推進業務について

4. その他

5. 閉 会

令和6年度勝浦市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

	所属元役職名	氏 名	備考
1 【会長】	勝浦市 副市長	加藤 正倫	
2	国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高橋 直人	欠席
3	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当 課長	伊藤 昌央	代理出席 山崎 乙濃
4	勝浦警察署 地域交通課長	石井 正志	代理出席 藤代 康一
5	夷隅土木事務所 所長	宮下 直也	欠席
6	千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	欠席
7	千葉県タクシー協会 常任理事 外房支部長	大矢 昌明	欠席
8	東日本旅客鉄道(株) 勝浦駅長	小口 宗昭	
9 【副会長】	小湊鉄道(株) バス部長	深山 宏樹	
10	日東交通(株) 鴨川営業所長	松井 大樹	
11 【副会長】	エミスタタクシー南総(株) 取締役支配人	古川 実	
12	小湊鉄道労働組合 書記長	清水 崇志	
13 【監査】	勝浦市区長会連絡協議会 上野地区会長	吉野 安男	
14	勝浦市区長会連絡協議会 総野地区会長	渡邊 浩之	
15	勝浦市民生委員児童委員協議会 会長	内田 和夫	
16 【監査】	勝浦市社会福祉協議会 監事	須金 重治	
17	勝浦市 都市建設課長 (市道・道路管理担当)	栗原 幸雄	
18	勝浦市 福祉課長 (障害者福祉担当)	水野 伸明	
19	勝浦市 学校教育課長 (学校教育担当)	紫関 左恭	
20	勝浦市 高齢者支援課長 (高齢者福祉・支援担当)	篠宮 寛敬	

令和6年度 第4回勝浦市地域公共交通活性化協議会 座席表

【副会長】 エミタスタクシー南総(株) 取締役支配人 古川 実	【会長・議長】 勝浦市副市長 加藤 正倫	【副会長】 小湊鉄道(株) バス部 部長 深山 宏樹
勝浦市 区長会連絡協議会 上野地区会長 吉野 安男		千葉県総合企画部 交通計画課企画調整室 山崎 乙濃(代理出席)
勝浦市 区長会連絡協議会 総野地区会長 渡邊 浩之		勝浦警察署 交通課 庶務係長 藤代 康一(代理出席)
勝浦市民生委員 児童委員協議会 会長 内田 和夫		東日本旅客鉄道(株) 勝浦駅長 小口 宗昭
勝浦市社会福祉協議会 監事 須金 重治		日東交通(株) 鴨川営業所長 松井 大樹
都市建設課長 栗原 幸雄		小湊鉄道労働組合 書記長 清水 崇志
福祉課長 水野 伸明		【オブザーバー】 エミタスタクシー(株) 営業部 池邊 次男
学校教育課長 紫関 左恭		【オブザーバー】 ランドブレイン(株) 石村 壽浩 井口 賢人 佐久間 志保
高齢者支援課長 篠宮 寛敬		
【事務局】 企画課 政策推進係 忍足・鈴木	【事務局】 企画課長 青山 大輔	

【議題①】

事業者協力型自家用有償旅客運送に係る実証運行について

マイカー乗り合い公共交通サービス「ノッカルかつうら」 勝浦市総野地区にて実証運行開始

■マイカー乗り合い公共交通検討の背景

【総野地区における交通課題】

- ・路線バスのダイヤはある程度充実しているものの、高齢者の日中移動、バス停から離れた地域への対応が不十分である。
- ・自家用車への依存度が高く、公共交通には、生活実態に合わせた目的地・ダイヤが求められている。

【課題解決の方向性】

持続可能な形で公共交通全体の利便性を向上させるため、

- ・地域資産である住民の自家用車を活用し
- ・既存路線バスを補完する形で
- ・住民の生活実態に合った

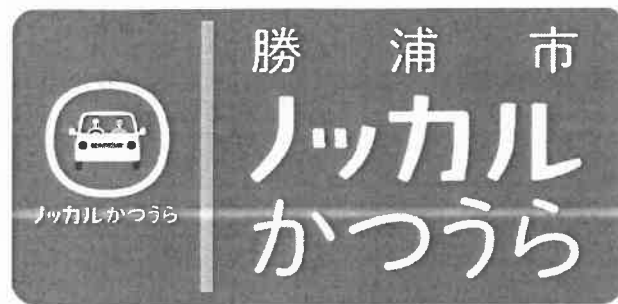
交通サービスの設計・運行を目指す必要がある。



そこで勝浦市は株式会社博報堂と連携し、既に実績のあるノッカルサービスの知見・経験を活かしながら、勝浦市総野地区において、マイカー乗り合い公共交通サービス「ノッカルかつうら」の実証運行を3月26日より開始します。

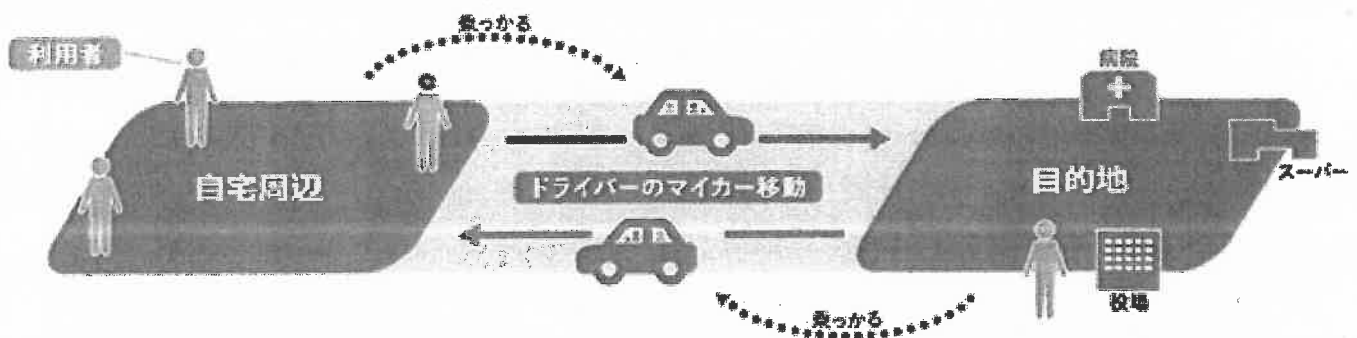
勝浦市内では現在、鉄道・路線バスに加え、タクシーやデマンドタクシーなどの公共交通により住民の移動を支えています。高齡化に伴う運転免許返納者の増加も予想される中、住民の移動手段の確保が課題となっています。特に、自家用車を持たない高齢者にとって、公共交通は生活に必要不可欠なサービスです。勝浦市では、これまでもデマンドタクシーの導入などの施策に取り組んできましたが、今回、さらなる公共交通の空白地域を解消するため、自家用有償旅客運送を導入することとなりました。

「ノッカルかつうら」は、勝浦市を運行主体とし、まずは総野地区の一部地域にて実証運行を開始し、令和7年度内の本格運行を目指しています。本サービスは、勝浦市が認定したドライバーとユーザーを、システム上でマッチングし、ドライバーが自家用車でユーザーを目的地まで送迎するものです。予約はLINEや電話で手軽に行うことができ、停留所はバス停など既存の仕組みを活用する設計となっています。



■「ノッカルかつうら」サービス概要

「ノッカルかつうら」は、総野地区の一部地域と勝浦駅周辺を行き来したい乗客が、住民が運転するマイカーに「乗っかる」仕組みで、住民同士の助け合いによる新たな移動手段で完全予約型の乗合交通です。ドライバーは助け合いの精神のもと、地区内の利用者をマイカーに乗せ、目的地まで送迎します。利用者は、ドライバーの予定をLINEで確認の上、事前予約し、ドライバーのマイカーで目的地まで移動します。



- ・実証実験開始日：2025年3月26日（水）【※以後毎週水曜日・金曜日運行予定】
- ・運行エリア：蟹田・松野・中倉・市野川・花里地域
- ・利用方法：会員登録制（勝浦市民に限ります）
- ・予約方法：前日17時まで電話またはLINEで予約（乗車の7日前から予約可）
- ・利用料金：実証期間中は無料（利用チケット1枚/回）
※利用チケットは会員登録後に市役所より郵送
- ・乗車方法：乗車予定時刻の5分前までに乗降場所で車両を待つ
- ・運行時間：別添資料参照
- ・ドライバー：3名
- ・保険：優先補償（ドライバーが加入する保険に優先して補償するもの）
移動サービス事業者向け自動車保険（東京海上日動火災保険）
- ・利用者登録：7名

■実証運行における各者の役割

- ・勝浦市：運行主体、運行管理、予約管理、ドライバー及び利用者の募集及び管理
- ・博報堂：サービス設計、コミュニケーションデザイン設計
- ・博報堂テクノロジーズ：システム開発・設計・運用

【議題②】

令和7年度 勝浦市地域公共交通活性化協議会 事業計画（案）

事業内容
■ 地域公共交通計画に係る実施事業の進捗確認・事業評価
■ 令和8年度地域公共交通確保維持改善事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出（令和7年6月）
■ 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価の提出（令和8年1月）

会議開催予定
■ 開催日 令和7年6月 会 場 未定 議題等 ・ 令和6年度勝浦市地域公共交通活性化協議会事業報告及び決算報告 ・ 令和6年度デマンドタクシーの運行実績について ・ 地域公共交通計画に係る事業評価について ・ 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に係る地域公共交通計画認定申請について
■ 開催日 令和7年8月頃 会 場 未定 議題等 ・ デマンドタクシー利用者アンケートの実施について ・ 地域公共交通計画の令和6年度評価等結果について ・ 地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について
■ 開催日 令和7年11月頃 会 場 未定 議題等 ・ 地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について
■ 開催日 令和8年1月頃 会 場 未定 議題等 ・ 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について ・ デマンドタクシー利用者アンケートの結果について ・ 地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について
■ 開催日 令和8年3月頃 会 場 未定 議題等 ・ 令和8年度勝浦市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）及び予算（案）について ・ 地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について

令和7年度 勝浦市地域公共交通活性化協議会 収支予算書(案)

■歳入

(単位:円)

款		項		目		内訳
1 負担金	314,000	1 負担金	314,000	1 負担金	314,000	勝浦市地域公共交通活性化協議会負担金 (勝浦市→協議会)
2 補助金	4,331,000	1 補助金	4,331,000	1 補助金	4,331,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地 域内フィーダー系統確保維持事業)4,331千円 (国→協議会)
合 計					4,645,000	

■歳出

(単位:円)

款		項		目		内訳
1 運営費	314,000	1 会議費	300,000	1 会議費	300,000	報酬支給対象9人×日額5,500円×5回＝ 247,500円 費用弁償(旅費)10,500円×5回＝52,500円
		2 事務費	14,000	1 事務費	14,000	振込手数料2,640円×5回＝13,200円
2 事業費	4,331,000	1 事業費	4,331,000	1 事業費	4,331,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地 域内フィーダー系統確保維持事業)4,331千円 (協議会→勝浦市)
合 計					4,645,000	

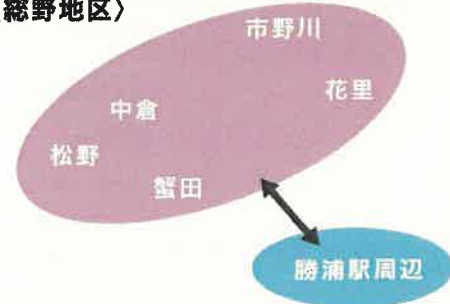
2025 3/26(水)開始

勝浦市総野地区の一部地域で、
マイカーを使った公共交通サービス

ノッカルかつうらの 実証運行を始めます!



〈総野地区〉



蟹田・松野・中倉・市野川・花里地域 ⇄ 勝浦駅周辺

実証運行期間中は **乗車料金無料**

※運行時刻など、詳しくはお問い合わせください。

勝浦市総野地区の一部地域で、新しい公共交通サービス「ノッカルかつうら」の実証運行を始めます! ご近所さんのマイカーに“乗っかる”ことができる、住民同士の助け合いで支えるサービスです。日々のお買い物や通院が便利になる「ノッカルかつうら」を、ぜひご利用ください! ※乗車には事前の利用登録と予約が必要です。



ノッカルかつうら

予約受付・お問い合わせ先

勝浦市役所企画課

0470-73-6654

受付時間 9:00~17:00 / 土日祝日を除く ※予約締切は乗車前日の17:00です。

ノッカルを利用してみませんか？

蟹田・松野・中倉
市野川・花里地域



ノッカルかつら 時刻表

2025年3月改訂

ドライバーの都合により運休となる場合があります

	月	火	水	木	金
ゆき → 各地域からの 出発時間	-	-	9:00 松野バス停 勝浦診療所 どまり	-	9:00 松野バス停 勝浦診療所 どまり
	-	-	10:00 勝浦駅周辺の 目的地まで	-	10:00 勝浦駅周辺の 目的地まで
	-	-	10:20 松野バス停 勝浦診療所 から	-	10:20 松野バス停 勝浦診療所 から
かえり ← 外出先からの 出発時間	-	-	12:00 勝浦駅周辺の 目的地から	-	12:00 勝浦駅周辺の 目的地から
	-	-	12:50 松野バス停 勝浦診療所 から	-	12:50 松野バス停 勝浦診療所 から
	-	-		-	

蟹田・松野・中倉
市野川・花里

バス停・診療所
勝浦中心部

片道約15分

あなたの自宅の最寄り停留所



松野（バス停）

勝浦診療所

JR勝浦駅

勝浦市役所

塩田病院

ベイシアスーパー
センター勝浦店

ウェルシア
勝浦新官店

勝浦整形外科

■乗車料金：実証期間中は無料

■乗車予約は前日17時まで

■乗車予約・お問い合わせ

0470-73-6654

（勝浦市役所 企画課 政策推進係 平日9:00～17:00）

初めてのご利用でも安心！ 簡単3ステップ

① 利用登録

会員登録は無料です。
LINEまたはお電話にて受け付けて
おります。お気軽にご連絡ください。

LINEでの
登録はこちら



② 乗車予約

乗車する前日の午後5時までに、
LINEまたはお電話にて乗車予約が必
要です。決められた時刻と停留所
の中から、ご希望の時間と場所をお選
びください。

③ 乗車方法

乗車時に利用チケットを1枚ドライ
バーにお渡しください。利用チケッ
トは、会員登録後、市役所から郵送
いたします。

ノッカルのドライバーになりませんか？

マイカーでのお出かけで 地域に貢献！

- ✓ 乗っける あなたの移動に合わせて／空き時間を活用して、ご近所さんをマイカーで送迎
- ✓ たずける 移動手段がなく困っている皆様の力になり、地域に貢献
- ✓ 喜ばれる 乗っかる人からの「ありがとう」が励みになります



予約受付・お問い合わせ先

勝浦市役所企画課

0470-73-6654

受付時間 9:00～17:00 / 土日祝日を除く
※予約締切は乗車前日の17:00です

1. 勝浦市地域公共交通計画推進業務について

(1) 勝浦市地域公共交通活性化協議会の運営支援及び地域公共交通計画の進捗評価・見直し

以下の通り、勝浦市地域公共交通活性化協議会の開催支援を行った。

■開催状況

No.	日時・場所	議事内容
第1回	令和6年6月26日（水） 14時00分～ 勝浦市役所4階大会議室	・令和5年度協議会事業報告及び決算報告について ・令和5年度デマンドタクシー運行実績について ・協議会役員の改選について ・勝浦市地域公共交通計画の変更について ・令和6年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定紳士依処の提出について
第2回	令和6年8月5日（月） 14時00分～ 勝浦市役所4階大会議室	・勝浦市地域公共交通運賃協議会の協議結果について ・勝浦市地域公共交通計画の令和5年度評価等結果について
第3回	令和7年1月30日（木） 14時00分～ 勝浦市役所4階大会議室	・令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について ・勝浦市地域公共交通計画の変更について ・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について
第4回	令和7年3月24日（月） 14時00分～ 勝浦市役所4階大会議室	・令和7年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について ・地域公共交通計画推進業務について ・事業者協力型自家用有償旅客運送に係る実証運行業務について

(2) 公共交通を利用したお出かけツアーの検討・実施

公共交通における地域課題を共有するとともに、地域資源としての公共交通の有用性の理解促進を図るため、日常生活において自家用車を利用する市民等を対象に、公共交通を利用したお出かけツアーの企画・検討を行った。なお、ツアーの実施については、令和6年10月には発生したいすみ鉄道の事故を受け、中止とした。

開催日程	第1回 令和6年10月19日（土） 第2回 令和6年11月23日（土）
対象	勝浦市内の小学1～6年生とそのご家族
定員	各回5組10人程度
参加費	無料 ※交通費及び昼食代は自己負担
ツアー行程	8:30 勝浦駅集合

	<p>JR 東日本 乗り方教室・駅員体験</p> <p>9:45 勝浦駅発</p> <p>9:59 大原駅着</p> <p>10:28 大原駅発</p> <p>10:59 大多喜駅着</p> <p>いすみ鉄道 乗り方教室・犬釘打ち体験 等</p> <p>12:10 昼食</p> <p>小湊鉄道 乗り方教室・運転手体験・洗車体験 等</p> <p>14:25 大多喜車庫バス停</p> <p>14:28 勝浦駅着</p> <p>15:30 振り返り・解散</p>
お申込み期間	令和6年9月19日(木)～10月7日(月)
申込数	<p>第1回 1組2名</p> <p>第2回 5組15名</p> <p>※令和6年10月には発生したいすみ鉄道の事故を受け両日程開催中止</p>

■ ツアーチラシ

第1回 10/19 土
第2回 11/23 土

バスや電車をより身近に感じ、公共交通を生活に取り入れていきましょう。

対象
勝浦市内の小学1～6年生とご家族

定員
各回 5組10人程度
※定員を超えるお申込みがあった場合、抽選で参加者を決定します。

参加費
参加費はありませんが、交通費及び昼食代はご自身でご負担ください。
※交通費 (大人) 1,320円 (子ども) 670円
※昼食はいすみ鉄道のお弁当 (1人前1,000円前後) を事前希望制でご用意します。

お申込み方法
■期間
9/19(木)～9/30(月) 正午
■方法
右記QRコードのフォームよりお申込み下さい。
※参加の可否は10月上旬頃にメールにて通知いたします。

ツアー行程
8:30 勝浦駅集合
JR東日本 乗り方教室&駅員体験 等
9:45 勝浦駅発
9:59 大原駅着
10:28 大原駅発
10:59 大多喜駅着
いすみ鉄道 犬釘打ち体験 等
乗り方教室&犬釘打ち(※)体験 等
※レールを固定するための大きな釘を打ち込みます。
12:10 昼食
小湊鉄道
乗り方教室&運転手体験・洗車体験 等
14:25 大多喜車庫バス停
14:58 勝浦駅着
15:30 振り返り・解散
※天候等により、一部行程に変更の可能性がございます。
※車でお越しの場合は、聖名市観光車庫をご利用下さい。

■問合せ先
(主催) 勝浦市役所 企画課 政策推進係 ☎ 0470-73-6654
(企画・運営) ランドブレイン株式会社 都市政策グループ (担当: 佐久間) ☎ 03-3263-9386

(3) モビリティ・マネジメントに関するセミナーの検討・実施

移動手段を過度に自家用車に頼る生活スタイルの見直し及び公共交通の利用促進のほか、健康増進や環境対策として求められるCO2排出抑制に対する認識について地域全体で深めるため、市民や市内事業者等を対象にしたモビリティ・マネジメントに関するセミナーを開催した。

開催内容については、次頁以降に記載の通りである。

2. 勝浦市モビリティ・マネジメントセミナーの開催について

(1) 開催概要

開催目的	移動手段を過度に自家用車に頼る生活スタイルの見直し及び公共交通の利用促進のほか、健康増進や環境対策として求められる CO2 排出抑制に対する認識について地域全体で深めるため、市民や市内事業者等を対象にしたモビリティ・マネジメントに関するセミナーを実施。
開催日時	令和7年年2月17日(月) 13:30~15:15
会場	勝浦市役所
参加者	計21名〔市民〕8名〔近隣市町村職員〕6名〔千葉県職員〕4名〔交通事業者〕3名
プログラム	1. 勝浦市地域公共交通計画の紹介 2. 講演「公共交通のメリット・デメリット/公共交通のトレンド」 3. 講演「マイカー公共交通“ノッカル”の取り組み」 4. 質疑応答
事務局	主催：勝浦市 委託事業者：ランドブレイン株式会社
登壇者	日本大学理工学部交通システム工学科 特任教授 藤井敬宏氏 株式会社博報堂 常廣智加氏

■セミナーチラシ

勝浦市モビリティ・マネジメント に関するセミナーを開催！

～セミナーの参加者を募集します！～

今後、公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段（モビリティ）を上手に利用していけるように取組む必要があります。
この度、市民や市内事業者等を対象にしたモビリティ・マネジメントに関するセミナーを実施します！是非ご参加ください!!

開催日程

2025年2月17日

13:30~15:15 (受付開始13:00)

開催場所

勝浦市役所 4階大会議室

(千葉県勝浦市新官1343-1)

プログラム (予定)

13:30	開会 (セミナーの趣旨説明)
13:35	勝浦市地域公共交通計画の紹介
13:45	<p style="color: #0056b3; font-weight: bold;">講演「公共交通のメリット・デメリット/公共交通のトレンド」</p> <p style="font-size: small; color: #0056b3;">〈講演者〉日本大学理工学部交通システム工学科 特任教授 藤井敬宏氏</p>
14:15	<p style="color: #0056b3; font-weight: bold;">講演「マイカー公共交通“ノッカル”の取り組み」</p> <p style="font-size: small; color: #0056b3;">〈講演者〉株式会社博報堂</p>
14:45	質疑応答・意見交換
15:00	閉会・参加者アンケート
15:15	終了

参加のお申込みについて

【受付期間】 2025年2月12日(水) 正午まで

【対象】 勝浦市民、勝浦市内事業者

【申込方法】 下記URLまたは右記QRコードのお申込みフォームより必要事項を入力の上、お申込みください。
<https://forms.gle/47PZFL7irLZNZrtt8>
※お電話でのお申込みも受け付けます。

たくさんのご参加
お待ちしております!!



【問い合わせ先】

(主催) 千葉県勝浦市 企画課 政策推進係 ☎ 0470-73-6654

(企画・運営) ランドブレイン株式会社 都市政策グループ (担当: 佐久間) ☎ 03-3263-9386

(2) 参加者アンケート

①調査概要

調査方法	セミナー開催後に参加者に対してアンケート調査を実施
調査日	令和7年2月17日(月)
回答数	18件

②調査結果

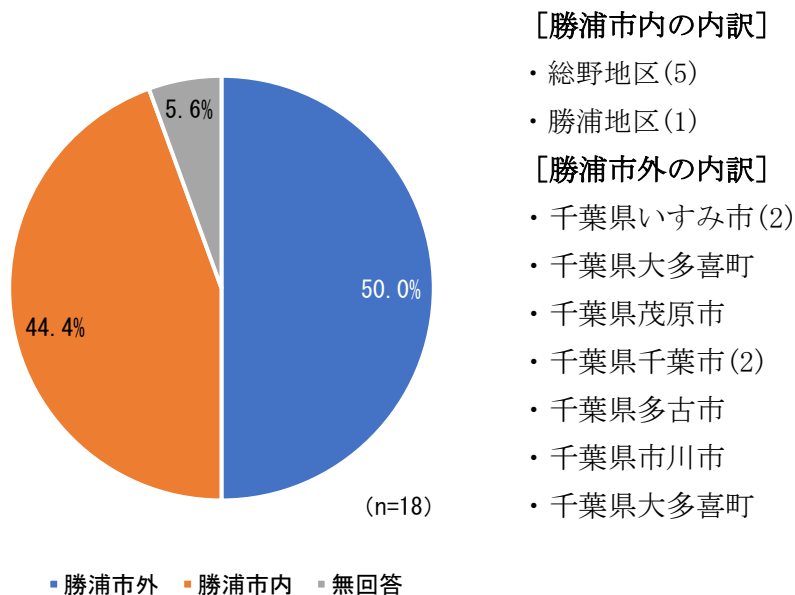
問1. ご自身について教えてください。(それぞれ1つに○印)

居住地は「勝浦市外」が50.0%、「勝浦市内」が44.4%となっている。

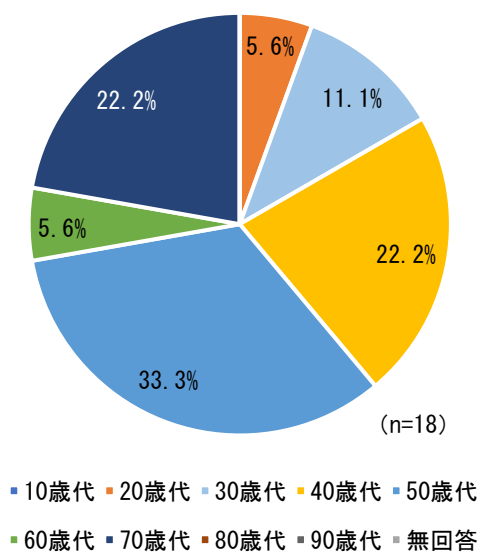
年齢は「50歳代」が33.3%と最も多く、次いで「40歳代」と「70歳代」が22.2%となっている。

職業は「会社員・公務員」が61.1%と最も多く、次いで「無職」が22.2%となっている。

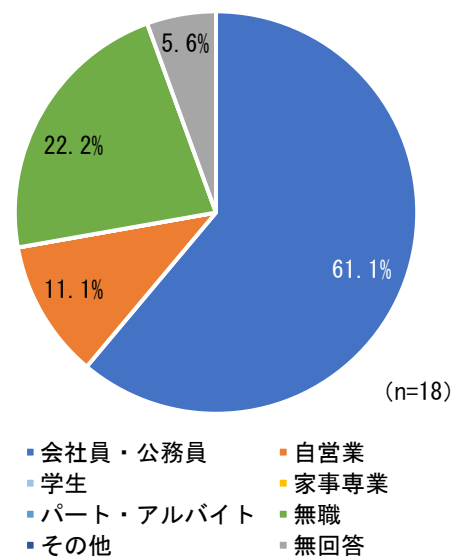
【居住地】



【年齢】

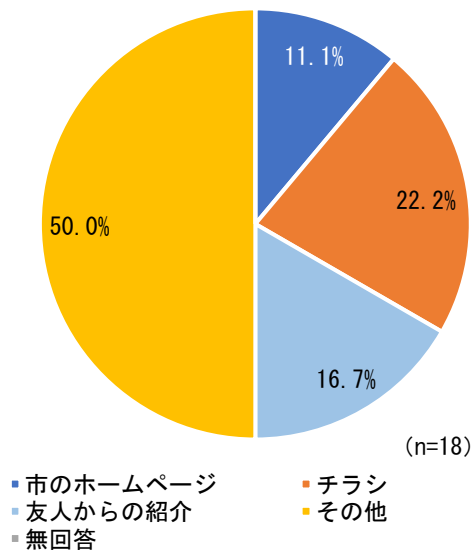


【職業】



問2. ご参加のきっかけを教えてください。(1つに○印)

「市のホームページ」が 11.1%、「チラシ」が 22.2%、「友人からの紹介」が 16.7%、「その他」が 50.0%となっている。

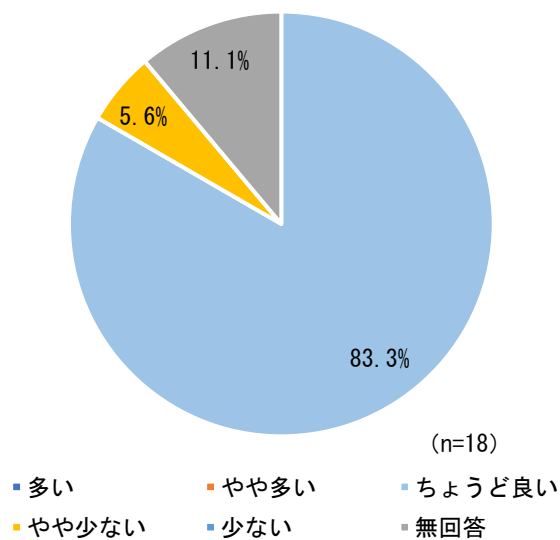


【その他の回答内容】

- ・登壇者のご紹介
- ・市からの紹介 (4)
- ・市のホームページの広報

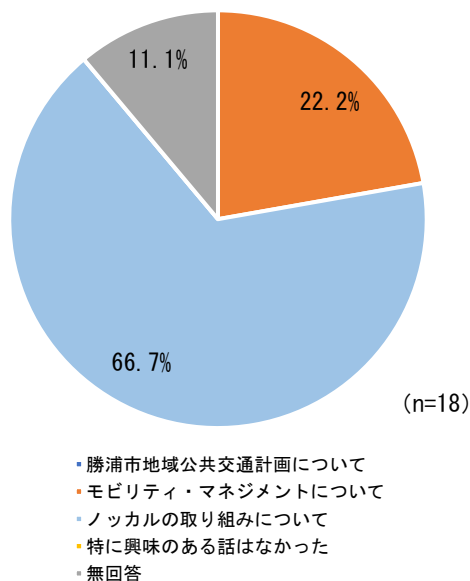
問3. セミナーのボリュームはいかがでしたか。(1つに○印)

「ちょうど良い」が 83.3%、「やや少ない」が 5.6%となっている。



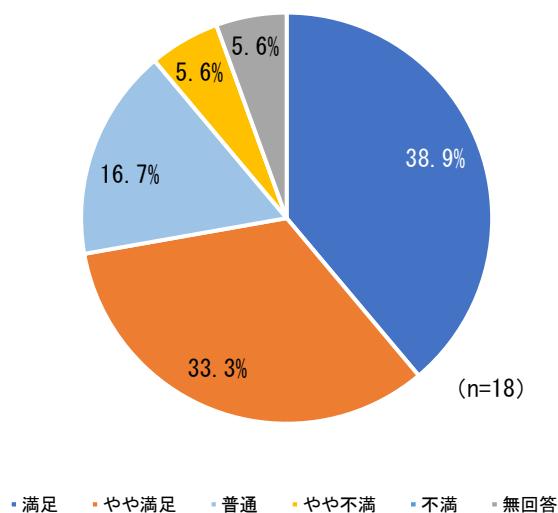
問4. 最も興味のある話は何でしたか。(1つに○印)

「モビリティ・マネジメントについて」が22.2%、「ノックルの取り組みについて」が66.7%となっている。



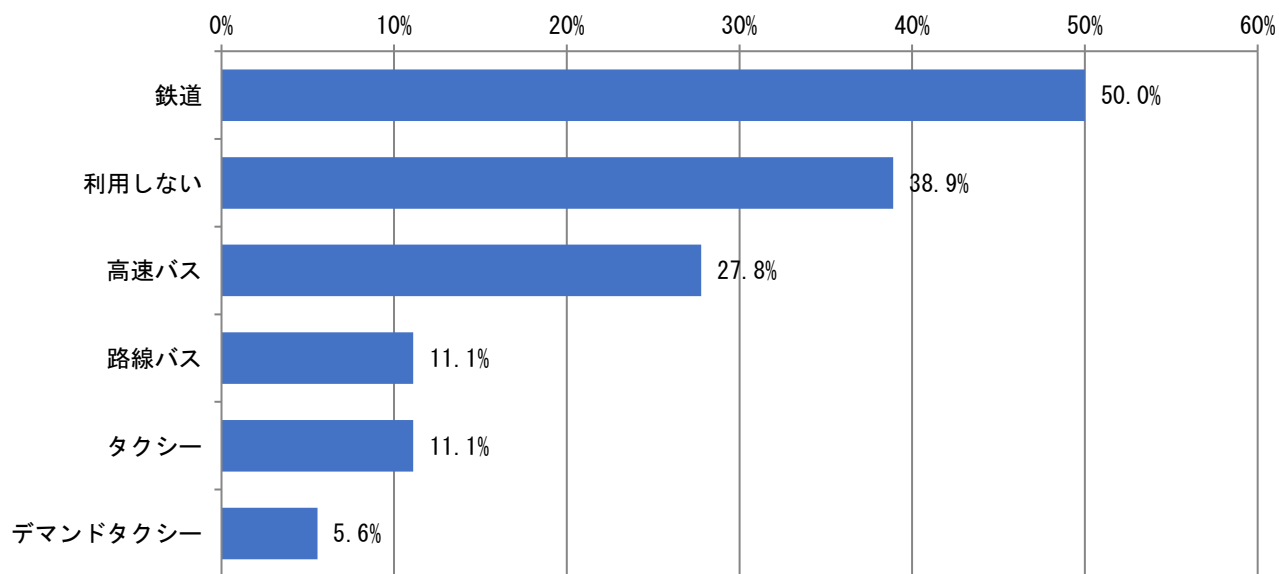
問5. セミナーの総合的な満足度を教えてください。(1つに○印)

「満足」が38.9%と最も多く、次いで「やや満足」が33.3%、「普通」16.7%、「やや不満」が5.6%となっている。



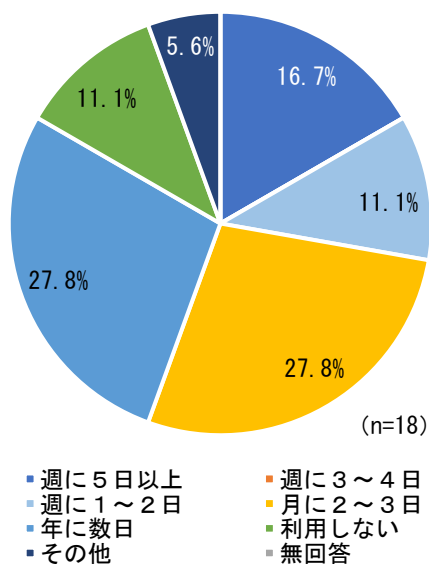
問6. 普段主に利用する公共交通について教えてください。(あてはまるもの全てに○印)

「鉄道」が50.0%と最も多く、次いで「利用しない」が38.9%、「高速バス」が27.8%となっている。地域内交通である「路線バス」と「タクシー」は共に11.1%、「デマンドタクシー」は5.6%となっている。



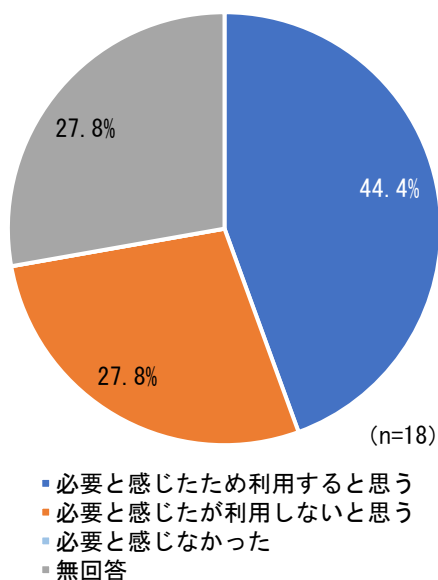
問7. 普段公共交通を利用する頻度を教えてください。(1つに○印)

「月に2～3日」「年に数日」が27.8%と最も多く、次いで「週に5日以上」が16.7%となっている。



問8. 本セミナーを通して自家用車利用から公共交通への転換が必要と感じましたか。(1つに○印)

「必要と感じたため利用すると思う」が44.4%、「必要と感じたが利用しないと思う」が27.8%となっている。



問9. 問8の回答理由を教えてください。

【回答内容】※原文のまま

[必要と感じたため利用すると回答した方]

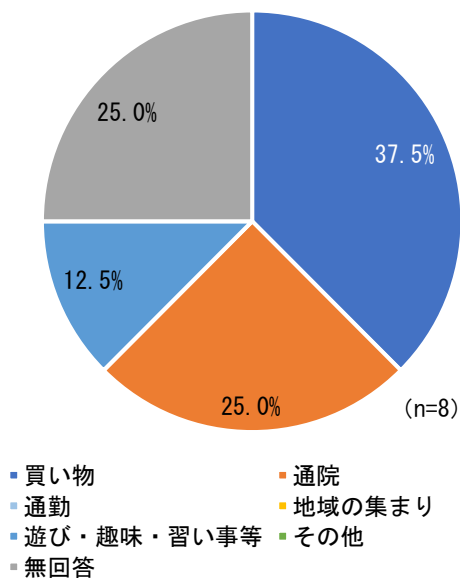
- ・カーボンニュートラルの概念より、また、高齢者の交通手段を増やす
- ・公共交通維持のため
- ・地域には公共交通が必要であり、支えていくために自分に無理のない範囲で利用したいと思うから
- ・活用できる資源・需要等を考えれば、必然であるから
- ・外出は生活に欠かせないものだから

[必要と感じたが利用しないと思うと回答した方]

- ・自家用車の利便性が高いため
- ・まだ自分が運転できるため
- ・自家用車での移動がメインです

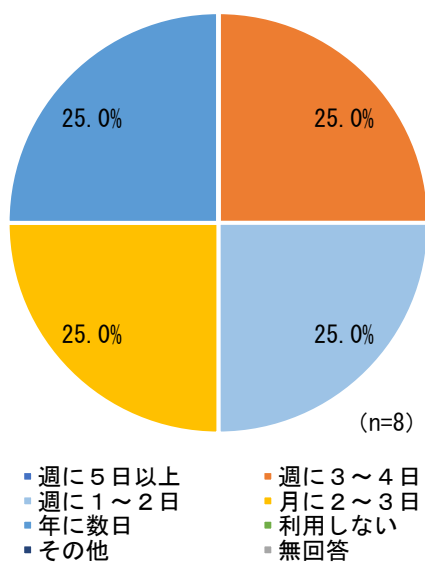
問 10. 公共交通への転換が必要と感じた方へお聞きします。どのような場面で公共交通の利用が可能だと思いますか。(1つに○印)

「買い物」が 37.5%、「通院」が 25.0%、「遊び・趣味・習い事等」が 12.5%となっている。



問 11. 公共交通への転換が必要と感じた方へお聞きします。どのくらいの頻度で利用が可能だと思いますか。(1つに○印)

「週に3～4日」、「週に1～2日」、「月に2～3日」、「年に数日」がそれぞれ 25.0%となっている。



問 12. 最後に、本セミナーの感想や次回以降の希望するテーマやご意見等がございましたらお願いします。

【回答内容】※原文のまま

[希望するテーマ]

- ・ドライバーの確保や制度の周知方法

[意見要望・感想]

- ・市民の参加が全体的に少ない。広報されてなかったのか、私自身はお寺で開催した「認知症カフェ」に高齢者支援課の職員から配布された資料ではじめて知りました。路線バスが廃止され、怪我をした折の通院、買い物時に非常に困りました。私の場合は、友人が買い物、通院に付き合ってくれました。それでも日々の生活に支障がでました。今日は、市民の声を聞いてくれる場だと思って来ましたが、そうでなく専門の業者さんの話で聞きたい事、伝えたい事が不可とわかりました。
- ・本日のセミナーを住民にもっと知ってもらい、自分達の事として考えてもらいたい。国民年金生活者の多い地域では、多額の負担は無理と思われます。その様な状況を十分に検討して欲しいと思います。私の住む地域ではコロナの時期に亡くなった人、施設入所者が多くありました。
- ・総野地区在住は、必要となる人がどのくらいいるのか、運転手の確保ができるのか、バス停まで距離のある人はどういう方法をとるのか、デメリットによる判断は、色々な問題が多すぎます。
- ・デマンドタクシーの運行拡大の具体的検討
- ・現時点では利用は必要としないが、いずれ必要となるため、システムの確率として現状取り組んでほしい。なお、独居老人等、必要としている人は周囲に何人もいる状況にある。個人的にも買物を依頼されたことがある。なお、専門家の話を聞いて参考になりました。
- ・副業としてドライバーを行う考えの人を取り込める方法があれば、良いのではないかと
- ・基本は前日予約であるが、待機中のドライバーが対応してくるような仕組みも1つの選択肢としてありではないか（本格運行時）→予約がはいたら、通知が来るような…
- ・出席させていただきありがとうございました。参考になりました。
- ・とても参考になるセミナーでした。ありがとうございました。
- ・参考になる話を聞けました。ありがとうございました。

3. 継続性のある効果的な取組提案

(1) モビリティ・マネジメント推進にあたってのポイント

①対象や目的を明確化した取り組みの展開

モビリティ・マネジメントの推進にあたっては、高齢者や学生等、公共交通を利用する可能性がある層をターゲットとして、それぞれのニーズに応じた目的を明確化し、公共交通をより“身近に感じてもらふ取組み”を行うことが必要であると考えられる。

■ターゲットごとの目的

ターゲット	目的	取組（案）
①学生	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許証取得前で移動の困りごとの多い層であることから、公共交通による移動を学んでもらい、保護者の送迎の負担を軽減することが必要。 ・乗車方法や支払い方法等を体験し、公共交通の仕組みを知ってもらうことで、将来的な利用を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を活用したお出かけツアーの実施 ・乗り方教室の実施 ・お出かけマップの作成
②高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用が多い層であり、高齢化の進展で今後も公共交通を必要とする方が増えることが予想されるため、一層の利用促進を図ることが必要。 ・日常的な外出目的である買い物や通院等で利用できる公共交通の使い方を知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を活用したお出かけツアーの実施 ・マイ時刻表の作成 ・商業施設等と連携した割引サービス等の実施
③移住者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力の1つとして公共交通の存在をPRすることが必要。 ・日常生活における利用施設（商業・医療等）へのアクセス方法を知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を活用したお出かけツアーの実施
④来訪者	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進む中、地域住民の利用促進のみならず、来訪者をターゲットとした利用促進を促すことが必要。 ・不便を感じている公共交通利用者が多いことから、公共交通で観光スポットを巡れらることを知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を活用したお出かけツアーの実施 ・観光施設等と連携した割引サービス等の実施

■次年度以降の取り組みイメージ

1) お出かけツアーの実施

今年度企画した親子向けのお出かけツアーでは、最終的にツアーの実施は出来なかったものの、全体で6組の応募があり、一定の需要があることが伺えた。親子向けツアーの他、高齢者を対象とした買い物ツアーや、市外からの来訪者や勝浦市への移住検討者を対象とし、スタンプラリー等の回遊要素を取り入れたまちの遊び方を提案するようなツアー等、ターゲットに応じたツアーの検討・実施が必要と考える。



2) 乗り方教室の実施

市内の小学校を対象に、路線バス車両を使用し、バスの乗車方法や乗車マナー、ルール、交通安全等についての体験型学習として、“乗り方教室”を開催することで、幼いころに公共交通を知る“きっかけづくり”となるとともに、子どもから大人へ公共交通の仕組みを伝える手段となり得る。

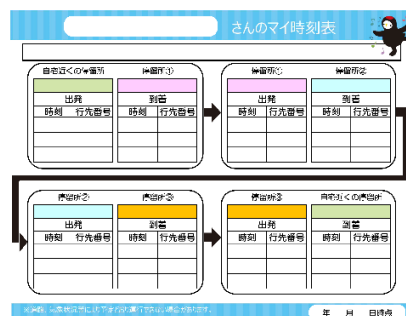
[事例] 埼玉県三郷市バスの乗り方教室



3) お出かけマップの作成

市内の飲食店や商業施設、レジャー施設等の目的ごとに、対象施設へのアクセス方法や、時刻表、運賃等の情報を掲載した“様々なお出かけマップの作成”を行う。作成にあたっては、市内の中学校や近隣の高校、大学等との連携も想定することで、地域の魅力の再発見にも繋がると考えられる。

[事例] 常陸太田市のマイ時刻表（市HP）



4) マイ時刻表の作成

バスの時刻表が分かりづらい、電車との接続時間が分からない等の理由によって公共交通の利用を避ける方に向けて、自分専用の“マイ時刻表の作成”を行う。日常生活においてよく利用する最寄りの停留所から、利用したい目的地の停留所までの路線や時刻に基づいて作成する。

5) 商業施設や観光施設等と連携した割引サービス

公共交通利用に付加価値をつけることを目的とした利用促進策として、観光施設や商業施設と連携したポイント制度等、公共交通の利用者に対する“割引サービスを実施”する。

[事例] 守谷市・デマンド交通と商業施設との連携サービス



②モビリティ・マネジメントに資する推進体制の構築

モビリティ・マネジメントの取り組み効果は単年で測れるものではなく、継続的な取組の実施が必要である。上記、①の取り組みを推進していくにあたっては、行政や交通事業者のみならず、商業施設や観光施設、教育施設等、まちづくりを形成しているあらゆる関係事業者とも連携を図り、一体となった推進体制の構築が重要であると考ええる。

また、今年度実施したセミナーでは、周辺自治体からの参加も多く、共通の課題・関心を有していることから、1市町村単独ではなく、生活圏を共にする広域での取り組みも有効であると考ええる。セミナーの実施や庁内での勉強会の実施等を通して、関係者が共通の課題認識をもち、役割分担を図りながら継続的な事業展開を行うことが有効である。

■連携体制のイメージ

